

## 東京大学大学院人文社会系研究科

### 次世代人文社会学育成プログラムによる海外派遣

#### 帰国報告

1. 最終報告提出日：2011年10月11日

2. 派遣生の基本情報

2-1. 氏名：岩田香織

2-2. 所属先：人文社会系研究科 アジア史専門分野 修士課程1年

2-3. 派遣形態：個人派遣

3. 研究課題名： 20世紀初頭の在外インド人革命的反英運動

4. 派遣先での活動

4-1. 派遣先の基本情報

4-1-1. 派遣国名と滞在都市名

カナダ（バンクーバー市、バーナビー市、アボッツフォード市、オタワ市）

4-1-2. 滞在した研究機関

・バンクーバー市立中央図書館

（Vancouver Public Library の22の支部のうち、Central Library）

・バンクーバー市立文書館

・ブリティッシュコロンビア大学 アジアセンター内 アジア図書館

・ブリティッシュコロンビア大学 貴重書・特別資料室

（以上バンクーバー市内）

・サイモンフレーザー大学 資料室（Archives）

・サイモンフレーザー大学図書館内 貴重書・特別資料室（Rare books & Special Collections）

（以上バーナビー市内）

・フレーザーバリー大学 インド-カナディアンセンター（アボッツフォード市内）

・カナダ国立図書館・文書館（オタワ市内）

4-1-3. その他研究に関連して訪れた機関

・カルサ・ディワン・ソサイエティ シク教寺院

・カルサ・ディワン・ソサイエティ バンクーバー事務所

・アボッツフォード ヒストリカル・グルドゥワラー（シク教寺院）

4-1-4. コンタクトした主な研究者

・ヒュー・ジョンストン氏（サイモンフレーザー大学 歴史学科 名誉教授）

・サットウィンダー・ベイン氏（フレーザーバリー大学 インド-カナディアン研究センター センター長）

・ハルジョット・オベロイ氏（ブリティッシュコロンビア大学 アジア学科 教授）

## 4-2. 派遣期間

7月20日出発、9月20日帰国、総日数63日

## 5. 主な研究成果

### 5-1. 当初の計画概要（200字程度）

19世紀末から20世紀初頭にかけてインド亜大陸からカナダへ渡った人々に関わる史料として、バンクーバー市立図書館と、カナダ国立図書館・文書館に所蔵が確認されるものの状況を把握し、可能な限り閲覧・収集する。また、文書館の開いていない時間には、バンクーバーの現在のシクコミュニティやシク教寺院を訪問して、聞き取りを行ったり、コミュニティ独自の所蔵史料がないかどうかの調査を行ったりする。

### 5-2. 実際に達成された成果（400字以上）

当初予定していた二ヶ所の他に、サイモンフレーザー大学（以下 SFU）資料室とバンクーバー市立文書館にまとまった量の関係史料があることがわかり、時間をかけてそれらを閲覧・収集することができた。SFU 資料室では Indo-Canadian Collection (F-145)<sup>1</sup> のリストアップ及び収集を完了し、バンクーバー市立文書館では H. H. Stevens material fonds (Add. MSS. 69) の読解と収集を完了した。

また、SFU では、派遣生の研究テーマと関わる歴史認識プロジェクト”Komagata Maru Project”<sup>2</sup> が現在進行中であることがわかり、プロジェクトのメンバーの方々と交流を持つことが出来た。特に、ヒュー・ジョンストン先生には、滞在中 4 回お時間をとっていただき、調査の進め方について貴重なアドバイスをいただくことができた。SFU では、日本人研究者が日本に残る史料から上記プロジェクトを助けることのできる可能性について期待を持っていただき、相互に協力関係を結ぶことが出来た。

カナダ国立図書館・文書館（以下 LAC）の調査においては、所蔵する関係史料が圧倒的な量と質であること、また LAC は全世界の図書館に対してマイクロ資料を無料貸借していることがわかったため、帰国後にも重要な史料について調査を続行できる見通しがついた。

3 か所の現地のシクコミュニティ及びシク教寺院も訪問することができた。コミュニティ独自で保存している史料は発見されなかったが、本を読んでいるだけでは得られない貴重な話をたくさん聞くことができ、移民史研究を進めていく上での重要な刺激を受けることができた。

---

<sup>1</sup> <http://www.sfu.ca/archives2/F-145/F-145.html> (同コレクションのファインディングエイド、2011/10/11 最終閲覧)

<sup>2</sup> <http://www.lib.sfu.ca/about/projects/komagata-maru> (同プロジェクトの Web ページ、2011/10/11 最終閲覧)

### 5-3. 今後の研究展望 (200字以上)

LAC から東大文学部図書室へのマイクロ資料貸借をすすめ、LAC 所蔵史料の調査を継続して行う。そこから得られたものと、今回の滞在で収集した史資料とを併せて、20 世紀初頭カナダにおける在外インド人の革命的反英運動参加に関して修士論文としてまとめることを考える。具体的には、先行研究で示されてきた枠組みでは捉えきれない、多様な在外ネットワークの運動参加があったことへの示唆が今回の調査でみられたので、その点についてももう少し詳しく調べることにしたい。